



令和3年3月19日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学 産学連携機構

東北大学発ベンチャー起業支援プログラムの採択決定 早期診断薬及び治療薬開発の事業化など新たに12件を採択

【発表のポイント】

- ・ベンチャー起業支援プログラムとして、12件の事業化支援案件を採択
- ・今後、事業化資金を支援するほか、関連機関によるメンタリング、マッチングイベントへの参加支援を行う

【概要】

国立大学法人東北大学では、東北大学発ベンチャー100社創出を目指し、研究成果を活用したベンチャー企業創出への支援に力を入れております。

具体的には、事業化の意志を持つ研究者を対象に社会的インパクトのある研究成果の事業化・実用化を支援する東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム(以下「BIP」)を実施しています。本プログラムには、企業との共同研究を前提とする「重点」と、新技術の事業化検証から、実用段階にある技術の起業準備に至る幅広い段階に応じた支援が可能な「育成」の2タイプがあります。

この度、令和2年度第2回学内公募に係る審査の結果、「育成」12件を採択いたしました。

BIPは、平成25年7月開始以降、これまで60件を支援しております。そのうち18件がベンチャー企業の設立に繋がっていることから、引き続き、持続可能で心豊かな社会の創造に貢献できる技術などを活用したビジネスの創出を目指し、活動を進めてまいります。

【問合せ先】

国立大学法人東北大学 産学連携機構 事業イノベーションセンター
江口 弘一、宇佐見 晃、池内 泰大

Tel : 022-752-2200

E-mail : info.innovation@ml.tohoku.ac.jp

URL : <http://www.rpip.tohoku.ac.jp/sangaku/inn/>

【東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム(BIP)】

「重点」:事業化に賛同するパートナー企業との共同申請による本格的な事業化検証プログラム

「育成」:研究者の事業化意欲の積極的な発掘と支援拡大を視野にした支援プログラム

平成 25 年 7 月開始以降「重点」「育成」合わせて、計 60 件を支援し、18 件がベンチャー企業として設立されました。

【採択者への今後の支援内容】

- 「重点」では、大学が 3,000～6,000 万円＋パートナー企業が BIP 実施費総額の 1/3 を負担、「育成」では、大学が上限 500 万円の額を負担し、大学発ベンチャー創出のための事業化資金を援助
- 産学連携機構、オープンイノベーション戦略機構、東北テクノアーチ、東北大学ベンチャーパートナーズによるメンタリング
- 連携企業開拓のためのマッチングイベントの参加支援

(別紙)

令和2年度第2回東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム (BIP) の採択内容

タイプ	所属部局	実施代表者	BIP 実施内容
育成	高度教養教育・学生支援機構	佐藤 公雄 准教授	患者由来の臨床検体を用いた早期診断薬及び治療薬開発とその事業化のための体制構築
育成	材料科学高等研究所	西原 洋知 教授	高機能カーボン系新素材事業立ち上げに向けた検討
育成	医学系研究科	菅野 恵美 准教授	高分散性ナノ型乳酸菌ライブラリを活用した受託解析・ライセンスビジネスの事業化検証
育成	工学研究科	田中 秀治 教授	高性能弾性表面波デバイス「HAL SAW デバイス」用貼り合わせウエハの量産技術の検証
育成	多元物質科学研究所	渡辺 明 准教授	ウェアラブルデバイスの開発と事業化検証
育成	医学系研究科	萩原 嘉廣 准教授	視覚的に骨折プレートをデザインするためのソフトウェア開発
育成	材料科学高等研究所	工藤 朗 助教	光造形 3D プリンティングを用いたマイクロ構造炭素材料事業立ち上げの為の、マーケティングと生産技術の検討
育成	災害科学国際研究所	千田 浩一 教授	無電源時における X 線画像撮影装置の試作と事業性検証
育成	農学研究科	野地 智法 准教授	幼若家畜の健全育成を目的とした母子移行免疫の強化技術に関する事業化検証
育成	環境保全センター	渡邊 賢 教授	超臨界二酸化炭素抽出和精油の新規生理機能性の発見およびファブレス生産モデルによる事業性の検討の事業性の検討

育 成	病院	角谷 倫之 助教	「AI による放射線治療計画の品質・安全性検証システム」のプロトタイプ開発と事業化検証
育 成	工学研究科	大脇 大 准教授	脳卒中患者のデータ駆動型 AI 歩行診断システムの開発と事業化検証

事業期間：令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日